

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 1月号 (NO69)

2016年1月10日 (日) 発行 (毎月10日)

【農暦】、穏やかな日々があることに感謝！

○迎春ばかばか各地3から4月並み。東京都心でも朝から気温が上がり、最高気温は平年より6度以上も高い16, 2度に達した。という記事を見て、確かに寒くはない。身を切るような寒風に晒されるのが普通なのにコートもジャンパーも無くても大丈夫のような陽気である。恒例になっている布施弁天への初詣は3日に出かけたのだが、寒さを感じなかった。小寒は6日で、寒の入りを迎え、立春の2月4日になる寒の明けまでの一か月が寒の内になる。これから寒さの本番を迎えることになるので、この暖かさは今だけかもしれない。5日頃から寒さが戻ると予報もある。居心地の良いだらしない時間を過ごしている。新年の決意も抱負も自然体の中で進めばよいような気がしてくる。猛々しいは既に似合わなくなっている。低いハードルにして節度を持ってやっていきたいと、新年のメールの返信でしていたが、改めてそうしたいと思った次第である。

○春耕と云うが今年のやり残しや反省から春耕を念入りにしたいと思っている。新たに始める積りでやりたい。体力や割ける時間など未知数なことが多いので有言は避けた。限りなく低いハードルにして節度を持ってやっていきたいと思う。幸い凍土は厳しくなさそうである。早々に始めたいと思っている。

○パソコンで編集に使う写真を見ていたら、カーソルの誤操作でクリックしたのか、懐かしい写真が出てきた。ラクビーOBの友人が笠間に訪ねてきた時に畑で撮ったものである。7年前である。同じファイルには、ラクビーの超シニアの赤いジャジー姿の懐かしい写真もあった。畑の状況がまるで違っていた。7年前はとおもわず思った。ガルデンの時の先輩が5年毎にガタガタと落ちると云った言葉が想い

出された。1回と2年過ぎたことになるのであるからやもえないのかもしれないが、何かもう一度頑張ってみたい気がして来た。正月の穏やかな日差しの中でいろいろ考える時間が持てている。

○一方で、初春から株価の下落、サウジとイラクの国交断絶、水爆実験？、殺人事件、それに国会の答弁などのニュース。うんざりすることばかりである。3日の新聞に「今さら」と諦めた時、手遅れが近づくのだろう。とあった。穏やかな日々があることに感謝し、今



<獅子舞>初詣の布施弁天で。
3日撮影

出来ることで少しでも良いものにして行きたいと思う。また楽しい時間も多く持ちたいとも思った。

<短歌2首>

夕焼けが 創る影絵の 家並みは
土鍋の湯気が 透けて見えそう

○遅くなってしまった初詣の帰路。夕日の中に、家並みのシルエットが影絵のように美しく見えた。きっと家の中では、食卓を囲んだ団欒があると想像してしまった。独居老人が多くなっている今日では望めなくなった光景であると思うと、昔日が懐かしく思え、夕焼けの空を眺め直してしまった。

初春の 日差し射しこむ 庭先に
万両の実 鮮やかに見ゆ

○片付けが行き届かないまま迎えた新春の朝。何となく、庭先を眺めて居ると、陽の光を受けた万両、南天の実の赤が一段と鮮やかに見えた。新春の気分にしただけなっている自分を感じた。

【楽農】小豆、黒豆の選別とほんの僅かを出荷！

<畑A> ; 支柱などの片付け。

大根、白菜、ネギ、ほうれん草の収穫。

<ハウス> ; 放置のままの。

<畑B> ; 耕起は持ち越し春耕に

*小豆、黒豆の選別・出荷など。



<万両の実>陽射し鮮やかな朱色。2日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○その他 ; 詩吟忘年会 (15日) たまり場の交流会 (18日)

共生の会忘年会 (19日) に参加など。

【つぶやき=Tweet】“頭のハエ”のことから「自己責任論」の言葉を！

○最近「土楽たより」を書くのが、気が重くなることがある。生涯現役、農的生活のライフスタイルを発信すると始めたことであるが、理想とは遠くかけ離れた今を、発信するに値するのだろうかと思ったからである。だが、自分なりに考えていることがある。一つはボケ防止であり、月日記であること。二つは迷惑でなければ読んでいただきたい。である。今までに発信不用のメールを3通いただいている。2通は退社と引っ越しで受信環境が無くなるからというものでした。後の1通は読める状況にない？でしたが、約1年後に再送信の依頼があった。今年の何枚かの賀状に、社交儀礼かもしれないが、楽しく読まさせていただいていると書かれていた。メールでも内容についてのコメントや楽しく読ませていただ

いていると送られて来る。その都度励みになりますと返信している。そんなことで書ける内は発信し少しでも何かを共有出来ればと思っている。

○一方で「土楽たより」を書く暇があれば畑の草の一本でもとれよと声なき声が聞こえる。

市井の人が多勢と違う発言や天下国家を論じることへ嫌悪感を持つ人は多い。他方で政治家や少しでも権威ある人には弱い。出ている杭はOKでもこれから出る杭は叩かれる。「土楽たより」関連で云うことではないと思うが、常にこのような空気を感じる。先号に“自分の頭のハエも追えないで”と書かないではいられないものがある。



<大豆、ヤーコン>ラクビーOBの友人と7年前の畑。草は管理されていた。

大きなこと云う前に、先ずは身の周りのことが出来てから、という話はよく出る。悪意はなくても世相を批判する発言を抑制する力を持っている。知って欲しいと思う。

○“頭のハエ”のことから「自己責任論」の言葉を連想してしまった。「今回に限った話ではない。2004年のイラク人質事件にはじまり、近年の非正規雇用のワーキングプアや生活保護受給者、シングルマザーなどの社会的弱者に対しても、必ず「自己責任」という言葉がもちあがる。女兒誘拐事件が発生したときも、被害者である女兒の母親が帰宅時まで外で遊ばせていたというだけで「母親の自己責任」と言いつける始末で、日本は何か起こると必ず自己責任論が発生する異常事態に陥っている。自己責任論は想像力をもたない愚かしい者の放言——そう言っても間違いはないが、指摘しておきたいのは、自己責任論の根底には、民衆が無意識のうちにすり込まれている巧妙な政治的意図がある、ということだ。」とネット上にあった文章である。因みに欧米からは奇異に見えるようである。“日本の「自己責任論」は「お上意識」の派生物で、日本人は政府批判精神が希薄だ”とも書かれていた。



<抹茶と落雁>初詣の折に茶屋で。初美味。3日撮影

○サウジとイラクの国交断絶のニュースに接し、若い頃に観た、映画「アラビアのローレンス」のことを思い出してしまった。オスマントルコを破り、アラビアの民を救った英雄ではなかったのだ。少し前のテレビで、実は、イギリスの諜報員だったと。今の中近東の地図（国境）策定に繋がる元を作ったのだと云う。秘密保護法ではないが知らされないことは多い。また無知は罪深く恐ろしいことだと思っただ次第である。またも書き過ぎてしまった。

【後記】芽吹きが始まります。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

HPに転載しています。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>